忠岡町子ども・子育て会議（第１回）会議概要

■日　時：平成25年10月16日（水）午前10時～

■場　所：忠岡町役場 ２階健康講座室

■出席者

[委　員]奥田委員、高見委員、藤田委員、川﨑委員、萬野委員、山野委員、大谷委員、

富本委員、木下委員、正木委員、内藤委員、岡澤委員、前田委員、島田委員

　　[事務局]すこやか推進課　武田、二重、小路

教育委員会教育総務課　橋本、古川

　　　　　　㈱ぎょうせい 河野

■配付資料

会議次第、委員名簿、忠岡町子ども・子育て会議条例

資料１　こども・子育て支援新制度とは？子ども・子育て支援事業計画とは？

資料２　忠岡町子ども・子育て支援調査挨拶文

資料３　忠岡町就学前子ども調査票（案）

資料４　忠岡町小学生調査票（案）

■会議次第

１　委嘱状の交付と委員の紹介

２　町長挨拶

３．事務局の紹介

４．忠岡町子ども・子育て会議設置目的及び条例について

５．会長・副会長の選任について

６．会長あいさつ

＜案件＞

１．子ども・子育て支援新制度、事業計画について

２．忠岡町子ども・子育て支援事業計画策定にあたってのニーズ調査について

３　その他

■会議概要

次第１　委嘱状の交付と委員の紹介

○事務局の進行により、和田町長から各委員へ委嘱状を交付（略）

次第２　町長挨拶

　　　　皆さん、おはようございます。大変お忙しい時間にも関わりませず、こういった会議を開催しましたところ、快く委員をお引き受けいただき、また、会議にもご出席賜りましたこと、まことにありがとうございます。平素は皆様方の公私に渡り何かと本町の行政推進にご尽力いただき、本当に助かっております。特に教育・福祉、子ども・子育てにおきましては、ご協力いただき、本町としましても推進できていると思っております。今後ともよろしくご指導を賜ればありがたいという思いで、今日を迎えました。さて、皆様方もご承知のように、日本国並びに本町も同じことでございますが、非常に超高齢化といいますか、お年寄りが多くなっている時代が到来しています。全国的にも65歳以上が大体20数％、うちの場合は23％というように、毎年高齢化率が高まっていきます。一方、少子化も急速に広がっていて、人口構造が変化しています。そして、核家族化も進むとともに、女性の社会進出も前進していまして、10年、さらにそれ以上前の時代とすっかり変わっています。そういうことから、家庭生活、また、社会制度も著しく変化しておりまして、私ども行政にとりましても、動向を踏まえ、また、人々の色々な思いをくみ取るようにしていますが、変化の激しい時代を迎えております。高齢者の方々には、いきがい対策、あるいは介護対策の充実といったことで、最後まで活躍をしていただきたいという環境づくりをやってきて、進捗を見ているわけですが、先程も申し上げましたように、社会の変化にあって、子どもや家庭を取り巻く環境も変わってきます。その中でも、女性の社会進出の活躍があり、私たちの意識の遅れを感じるようなことが絶えず起こっています。そこで、子ども・子育てをめぐる課題も色々と出てきましたので。また、ニーズも多様化してきましたので、皆さんとともに、女性の社会進出を支援するとともに、子育て、健全育成、それに留守家庭児童学級、さらには本町の幼稚園や保育所等の施設の検討などもしていきたいということで、皆さん方のお力を拝借するためお集まりいただいたところです。単純に矮小化して申し上げると、本町の待機児童はいませんが、次世代を担う子どもたちをどうしていくかということで、これからお力をお借りしたいと思っております。本日より具体的な行動を通じて方向性を生み出していただくと、一番ありがたいと思っています。よろしくお願いいたします。今日は私どももしっかりやっていきますが、ぎょうせいの河野さんにも来ていただいております。健康福祉部すこやか推進課に事務局を置いて頑張っていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

次第３　事務局の紹介（略）

　　次第４　忠岡町子ども・子育て会議設置目的及び条例について（略）

　　次第５　会長・副会長の選任について

○事務局一任との委員からの声があり、事務局提案として

　　　　　会長に忠岡町民生委員児童委員協議会会長の奥田委員、副会長に東忠岡地区福祉委員会委員長の高見委員、忠岡地区福祉委員会委員長の藤田委員について提案し、委員の異議なしの声により承認された。

　　次第６　会長あいさつ

　　　　それでは改めまして、おはようございます。ただ今、事務局のご指名によりまして、会長という大役を仰せつかりました奥田でございます。会長就任にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。前回の次世代育成支援行動計画の策定の折には、私と副会長の高見さんと藤田さんが委員として参加いたしました。今回は、平成27年度からの国の計画ということでございます。今回も前回同様、住民の方々のニーズ調査を行いまして、子育て世代の町行政に対する希望をしっかりと把握し、次の事業計画に反映させてまいりたいと存じます。どうぞ皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。　　ただ今より、副会長のお力をお借りしまして会議を進めてまいりたいと存じます。どうぞ最後までご協力をよろしくお願いいたします。簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。

　　　○副会長については名前のみの紹介（略）

　　　○会議の成立について・・・奥田会長より、忠岡町子ども・子育て会議条例第５条第２項の規定により、会議の出席状況は委員数14名中13名の出席であり、会議が成立していることが報告された。（欠席委員：島田委員）

案件１．子ども・子育て支援新制度、事業計画について

・・・・資料１に基づき、事務局説明（略）

意見等なし

案件２．忠岡町子ども・子育て支援事業計画策定にあたってのニーズ調査について

・・・・資料２～４に基づき、事務局説明（略）

質問、意見等について

委　　員：これは11月くらいに調査するのですか。

事 務 局：後で説明するつもりでしたが。今日、初めてこれを見る方がほとんどだと思うので、なかなかすぐにご理解いただけるとは思っていないので、10月25日までに事務局のほうに何かご意見、ご要望がございましたら、それを反映していく方向で考えています。調査票を出すのは、11月中旬までにしたいと考えています。それについては、小学校と幼稚園、保育所を通じて出そうと考えています。就学前のどこにも通われていないお子さんについては、直接郵送で送る予定です。期間としては、11月中を目途に回収を行い、12月一杯をかけて分析等々していこうかと考えています。

委　　員：何点か気になったところがあります。まず、資料３の５ペ－ジで、問９-１ですが、問９でもう一人以上お子さんを生みたいと思いますかについて、２の「生みたいとは思わない」と回答した人に聞いていますが、この選択肢の中で「これ以上子どもは必要ない」という項目があってもいいのではないかと思いますが。次に６ページの問13で、２だけ後段に「代わりに子どもをみてくれる人がいないこと」と文章が入っているのは、ちょっとおかしいと思う。他の選択肢も全部入っているのであれば問題はないが、ここだけ入っているのは違和感を感じる。13ページの問18－１の選択肢８で「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」とあるが、「仕方なく」は要らないのでは。何か子どもだけで留守番をさせる事が悪いような印象を与え、意見誘導になるのではないかと思う。それと同じ指摘で、15ページの問21－１の選択肢４と５にも「仕方なく」があるが、これも意見誘導になるのではないか。これは資料３ですが、同じことが資料４にも言えます。資料４の７ページの問11－１も「仕方なく」があるし、９ページにもある。ぱっと見た感想ですが。

事 務 局：ありがとうございました。そうしましたら、先程言われた部分も含めて、また、25日までに何かありましたら事務局までご連絡いただけますでしょうか。それを検討させていただいて、会長さんとお諮りした上で、最終的に決定していきたいと考えていますので、よろしくお願いします。

会　　長：他にどなたかございませんでしょうか。ないようですので、次に案件３のその他について、何でも結構ですので、何かございませんでしょうか。

委　　員：私は大阪府私立幼稚園連盟の内藤です。この会議に参加させていただき、ありがとうございます。私立幼稚園が忠岡町内にはありません。去年の数字ですが、町外へ64人位通っています。10年後どうなるかわからないですが、事業計画は広域的なことも考えて検討していただけたらと思っています。

委　　員：どこの幼稚園ですか。

委　　員：和泉市にある新光明池幼稚園です。幼稚園は府の管轄です。府の中でも南海支部といって、堺より南側になります。

会　　長：他に何か。事務局はありますか。

事 務 局：ありません。

会　　長：ないようでございますので。次回の日程については、ニーズ調査の集計後、年明けを予定しています。決まり次第、私の方からご案内させていただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。以上をもちまして、本日の会議の予定しました案件はすべて終了いたしました、委員の皆様方、朝早くからありがとうございました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

事 務 局：奥田会長様どうもありがとうございました。委員の皆様方には、本日は長時間、ありがとうございました。これをもちまして、第１回忠岡町子ども・子育て会議を終了させていただきます。どうもありがとうございました。

了

終了時刻午前１１時半